

# 貴志南っ子

10月

令和元年9月27日

## 「いのちのきずな」

○本校の5年生は「いのちのきずなメッセージ」に応募しています。「いのち」「友達」「家族」などのテーマを選んで200字程度のエッセイを綴ります。このエッセイを読むのが私の毎年の楽しみです。

### いのち

- 2, 3週間は生きていた(メダカの)赤ちゃんが突然全滅してしまった。あれだけ元気に動いていた赤ちゃんが死んでしまうなんて。大きく育てるのはなんて難しいことだろう。メダカに限らず、命は尊くていとおいしいものだ。(N君)
- どうしたら家族に感謝できるのかなあと思いました。お母さんに聞いてみたら「元気でいてくれるのが一番よ」と言われました。私は「命に感謝」しないといけないし「家族に感謝」もしないといけません。私は家族とその周りの人、友達に支えられて、こんなに幸せに過ごしています。(Nさん)
- お墓参りに行ったら、ご先祖様のことを考えます。ご先祖様のおかげで私は生まれてきました。代々受け継いできた命のバトンを私も受け継いでいけたらいいな。(Mさん)
- ひいばあちゃんは戦争体験者です。爆弾が落とされたとき、赤ちゃんだったおじいちゃんの耳をとっさにふさぎ、自分は衝撃で耳が聞こえにくくなった話を聞きました。ひいばあちゃんが戦時中を力強く生き抜いてくれ、命をつないでくれたので、ぼくのお母さんが生まれ、そしてぼくが生まれることができたのです。命の絆だと思えます。(A君)



### 友達

- 〇〇ちゃんといると、いつも落ち着いて自然にふわっと笑顔になります。たまに元気がないとき、面白いことを言ってくれて元気が出ます。〇〇ちゃん、ありがと。(Yさん)
- 友達といると、毎日が笑って楽しい。だから私は学校が大好きで、夏休みなんかいらぬくらい。日曜日など休みの日には「早く学校にいきたいなあ」「やっと明日は学校だ」って思っている。これは友達のおかげなんだなあ。友達には感謝しているし、これからますます大切にしていきたい。(Mさん)

### 家族

- 新しく産まれる妹の面倒を見て、兄弟に兄としてあこがれてもらえるように努力していきたいです。(O君)
- 亡くなったお母さんは、自分の命より私の命を選んでくれたそうです。亡くなったお母さんが天国でこれからも見守ってくれていると信じて、家族や命を大切に生きたい。(Hさん)
- 辛いことや悲しいことがあっても、家族の笑顔を思い浮かべると心が温かくなります。私の一番の支えは家族の笑顔です。私もお母さんのような母親になれたらいいなと思えます。(Tさん)
- 私のひいじいちゃんをよく寝たり、口いっぱいにご飯を入れたりして、おばあちゃんに怒られています。でも、よく私としゃべっているんな話をするので私は楽しいです。(Sさん)

### 感謝

- 私は、これ以外に数えきれないほどの支援を受けてきました。これからみんなの力になれるように努力をすることで、今までの支援の感謝をしていきたいと思えます。(Oさん)

○日頃の言動から想像できないその子の別像や環境や経験が見えて心が揺さぶられます。〈学校長〉

貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。